

## ココポーマアカフジツボの生理・生態の解明

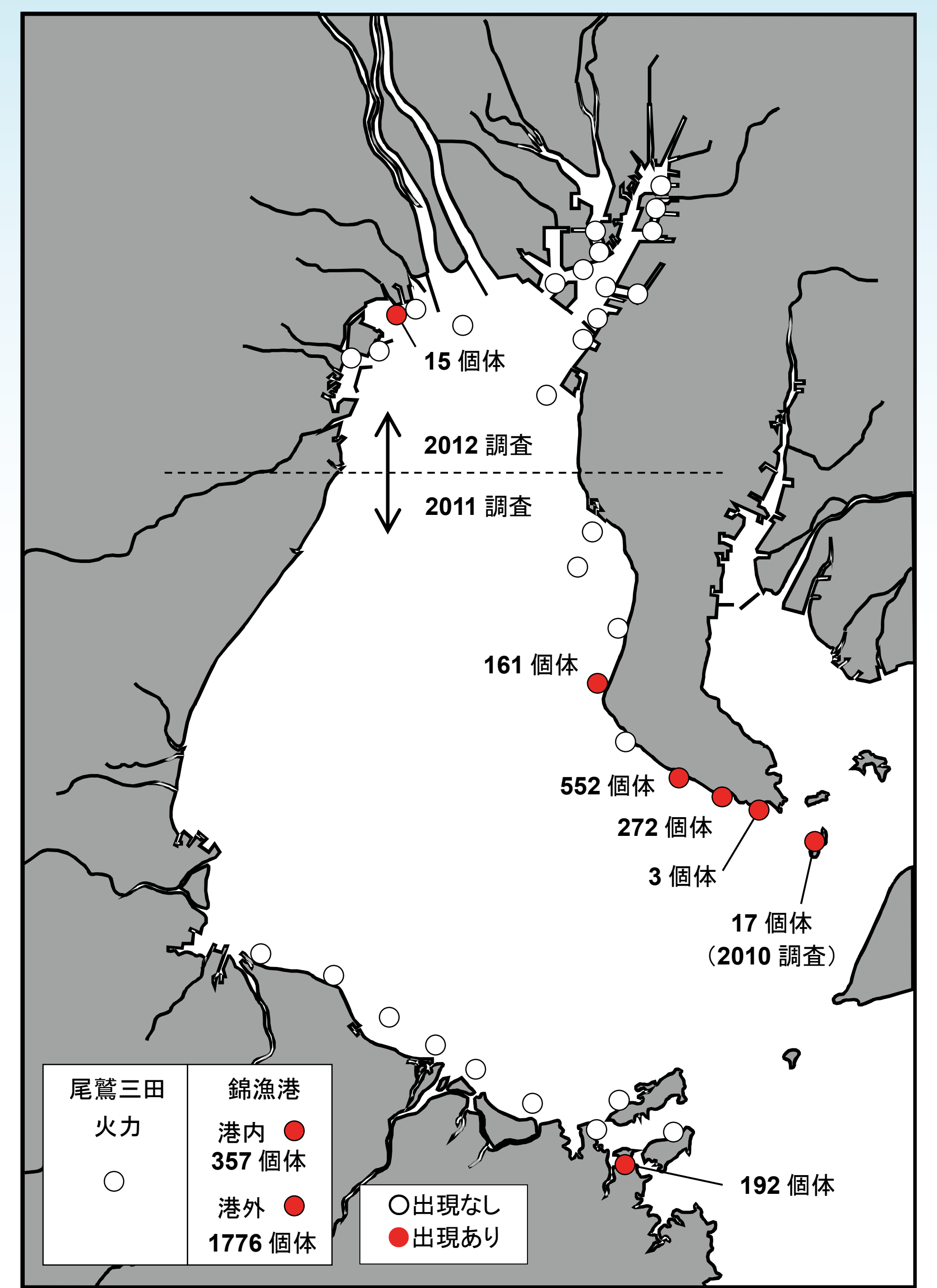
# 海外から侵入する 発電支障生物を調べ、 対策に役立てます

### 背景・目的

- 近年、国内への侵入が確認されたココポーマアカフジツボ（中南米原産）は在来のフジツボ類より大型で、火力発電所が集中する伊勢湾湾奥に侵入した場合、発電支障の増加が懸念されます。そこで、本種への対策が将来必要か否かを判断するため、伊勢湾での分布調査および塩分耐性試験を行い、伊勢湾湾奥への侵入の可能性を検討しました。

### 特長

- 伊勢湾、熊野灘における本種の侵入状況を明らかにしました
- 本種の低塩分耐性は在来種のアカフジツボより低いことを明らかにしました
- 伊勢湾湾奥では本種に対する対策が不要であることを明らかにしました
- （一財）電力中央研究所で開発された最新の幼生識別技術「リアルタイムPCR法」を用いました

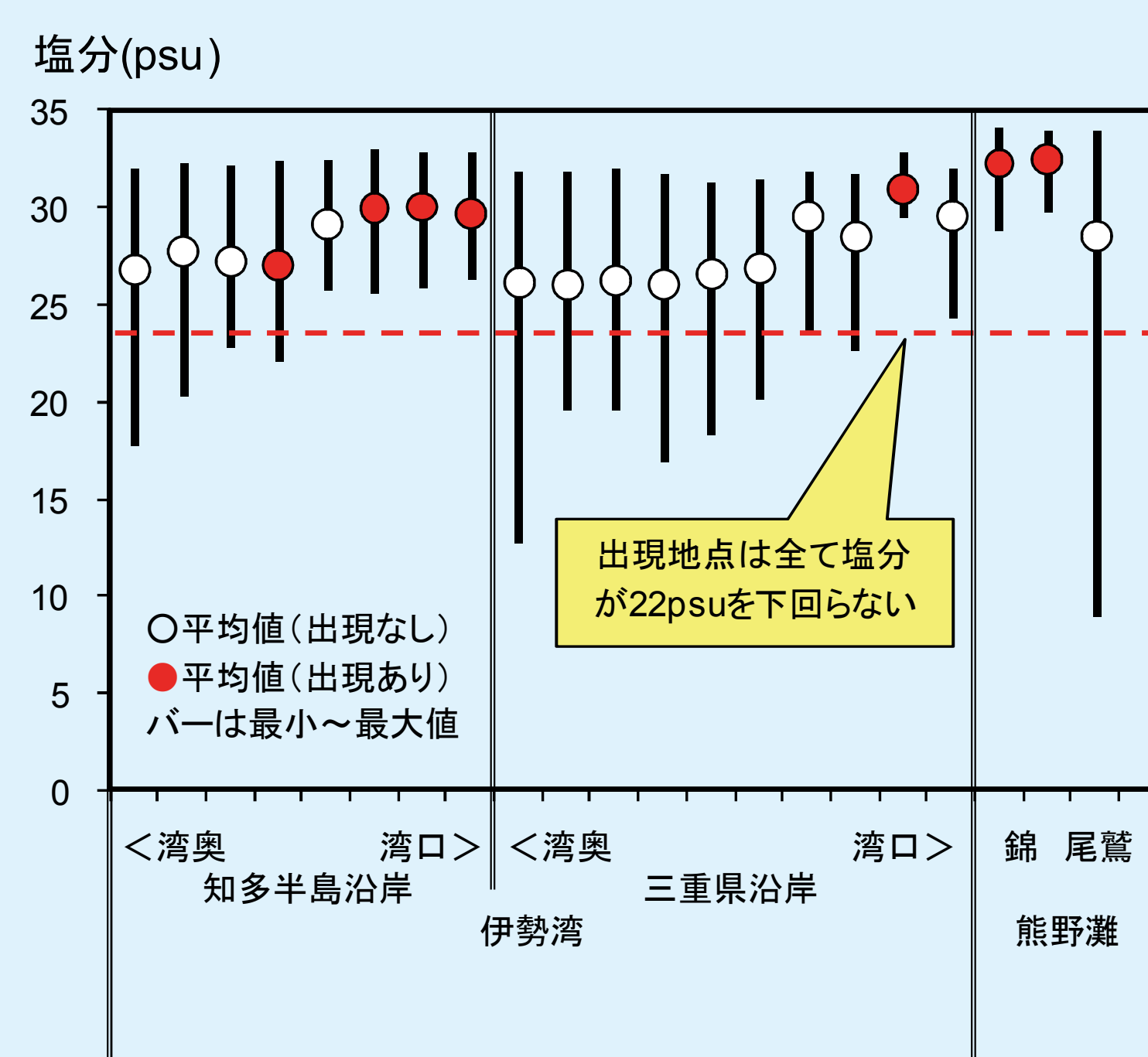


ココポーマアカフジツボ幼生の出現海域



ココポーマアカフジツボ *Megabalanus coccopoma*

### 出現海域の塩分 (2011 調査)



### アカフジツボとココポーマアカフジツボとの塩分耐性の比較 (48hr LC<sub>50</sub>)

